

## 2021年 年頭のご挨拶

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大で、仕事や生活様式に大きな変化があり、年中行事、イベントなどが縮小や中止になりました。4月には緊急事態宣言が発令され、5月には終息かと思われましたが、その後感染が広がり、12月31日には一日の感染者数が4千人を越えました。先が見通せない不安が降り積もっています。

感染は世界中で拡大しています。マリ共和国でも徐々に感染が広がっているそうです。感染症危険情報で、10月以降マリ全土がレベル2(不要不急の渡航禁止—感染症)となっています。昨年8月にクーデターがあり、非常事態宣言が出されていました。12月には感染症の拡大で、2021年6月までの延長が決定されました。

コロナ禍の不安の中で2021年を迎えましたが、「生き延びること」を目途として、感染しないこと、発熱・感染したら早めに病院にかかることを心掛けたいと思います。ワクチンはまだ先のようにです。コロナ禍で日本でも社会システムのひずみや経済格差が明らかになりました。生活の中でそれらの解決対策は重要です。

マリの現地での直接的な支援は見通せませんが、現地スタッフの安全を確保し、力を借りて支援の実施を進め、持続可能な開発目標に向かって協力を行います。少しでも村人の希望につながる連携ができればと思います。

皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

サヘルの森 代表 坂場光雄